

2024年度 第3四半期 決算説明会

2025年2月7日

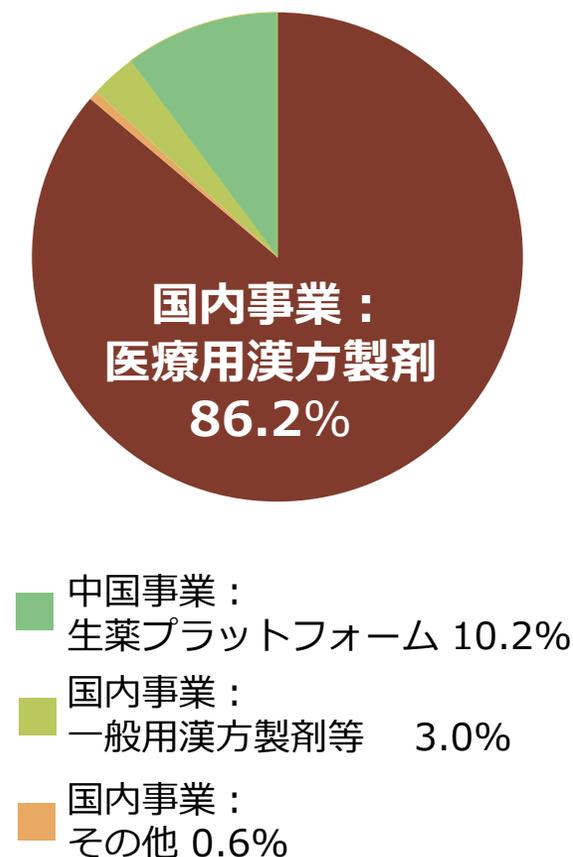
株式会社ツムラ

取締役CFO 半田 宗樹

2024年度 第3四半期 決算概況

【百万円】	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	前年同期比		2024年度 期初計画	進捗率 (対期初計画)
			金額	増減率		
売上高	115,826	136,773	+20,947	+18.1%	185,000	73.9%
国内事業	101,929	122,880	+20,951	+20.6%	163,400	75.2%
中国事業	13,896	13,892	△4	△0.0%	21,600	64.3%
営業利益	19,143	32,380	+13,236	+69.1%	39,500	82.0%
国内事業	19,427	32,568	+13,141	+67.6%	39,490	82.5%
中国事業	△283	△187	+95	-	10	-
経常利益	22,400	35,151	+12,750	+56.9%	39,500	89.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16,151	26,567	+10,416	+64.5%	28,500	93.2%
PL換算レート※ (円/元)	19.62	20.99	+1.37	-	21.00	-

売上高構成比率



※期中平均レートであり、原料生薬の輸入レートとは異なります

・増収増益の決算

売上高	136,773 百万円	前年同期比	+18.1%	進捗率 (対期初計画)	73.9%
------------	--------------------	-------	---------------	----------------	--------------

- 国内事業 医療用漢方製剤（129処方） : 117,904百万円 前年同期比 20.8%伸長
- 一般用漢方製剤等 : 4,037百万円 前年同期比 22.3%伸長
- 中国事業 原料生薬、飲片、「薬食同源」製品等 : 13,892百万円 前年同期比 0.0%減少

営業利益	32,380 百万円	前年同期比	+69.1%	進捗率 (対期初計画)	82.0%
-------------	-------------------	-------	---------------	----------------	--------------

営業利益率	23.7 %	前年同期比	+7.2pt
--------------	---------------	-------	---------------

- 原価率 : 49.0% 前年同期比 Δ 3.5pt : 加工費の上昇、生薬調達コスト上昇の影響等を薬価改定で吸収
- 販管費率 : 27.4% 前年同期比 Δ 3.6pt : 主に売上高の増加の影響

経常利益	35,151 百万円	前年同期比	+56.9%	進捗率 (対期初計画)	89.0%
-------------	-------------------	-------	---------------	----------------	--------------

- 海外子会社への貸付金等に係る為替差益 : 1,935百万円 前年同期比 Δ 266百万円 ※為替差益は期初計画では未計上

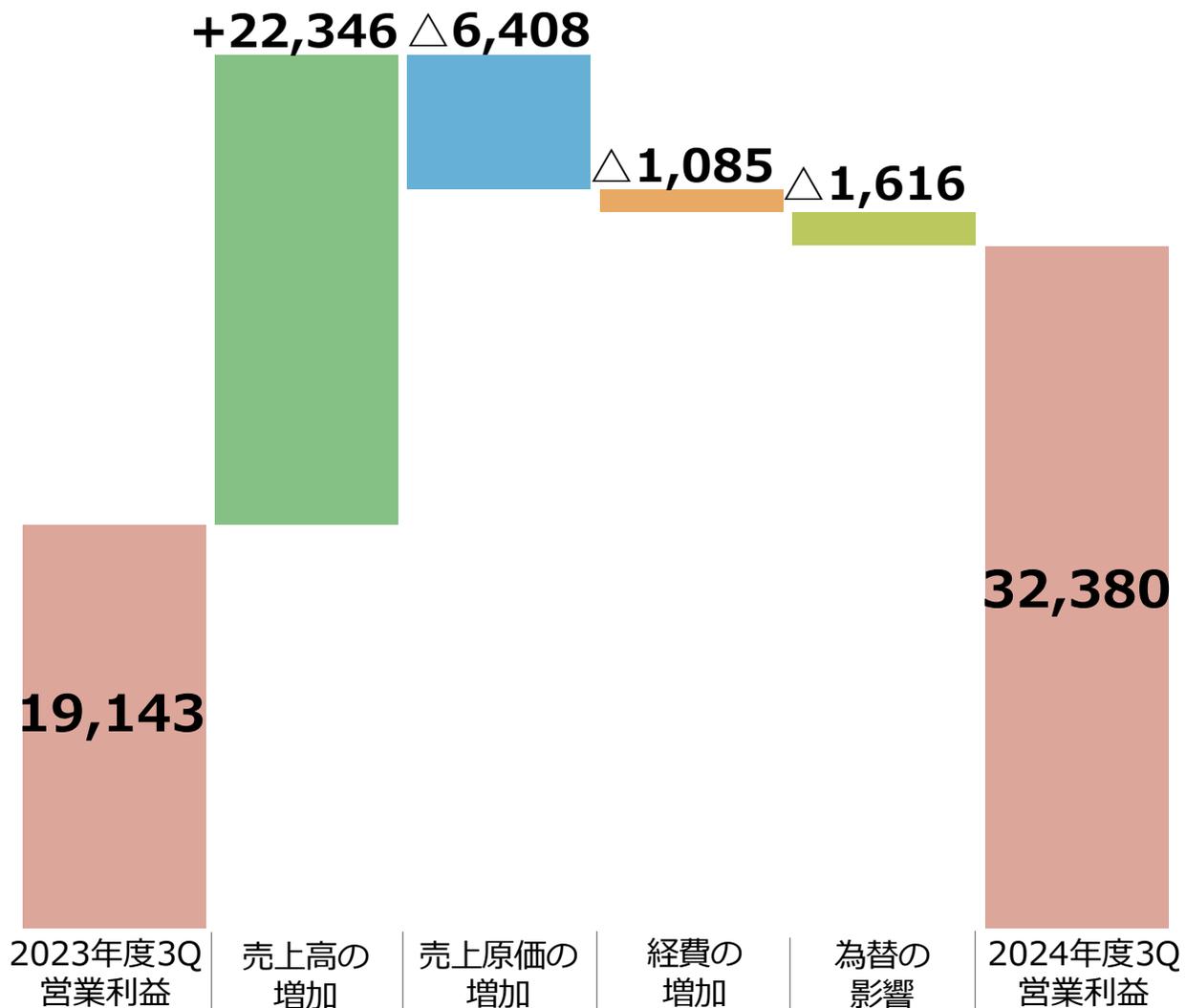
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26,567 百万円	前年同期比	+64.5%	進捗率 (対期初計画)	93.2%
-----------------------------	-------------------	-------	---------------	----------------	--------------

- 政策保有株式売却益 : 2,950百万円 前年同期比 +2,504百万円 ※政策保有株式売却益は期初計画では未計上

営業利益の増減要因（前年同期比）

(百万円)

(百万円)



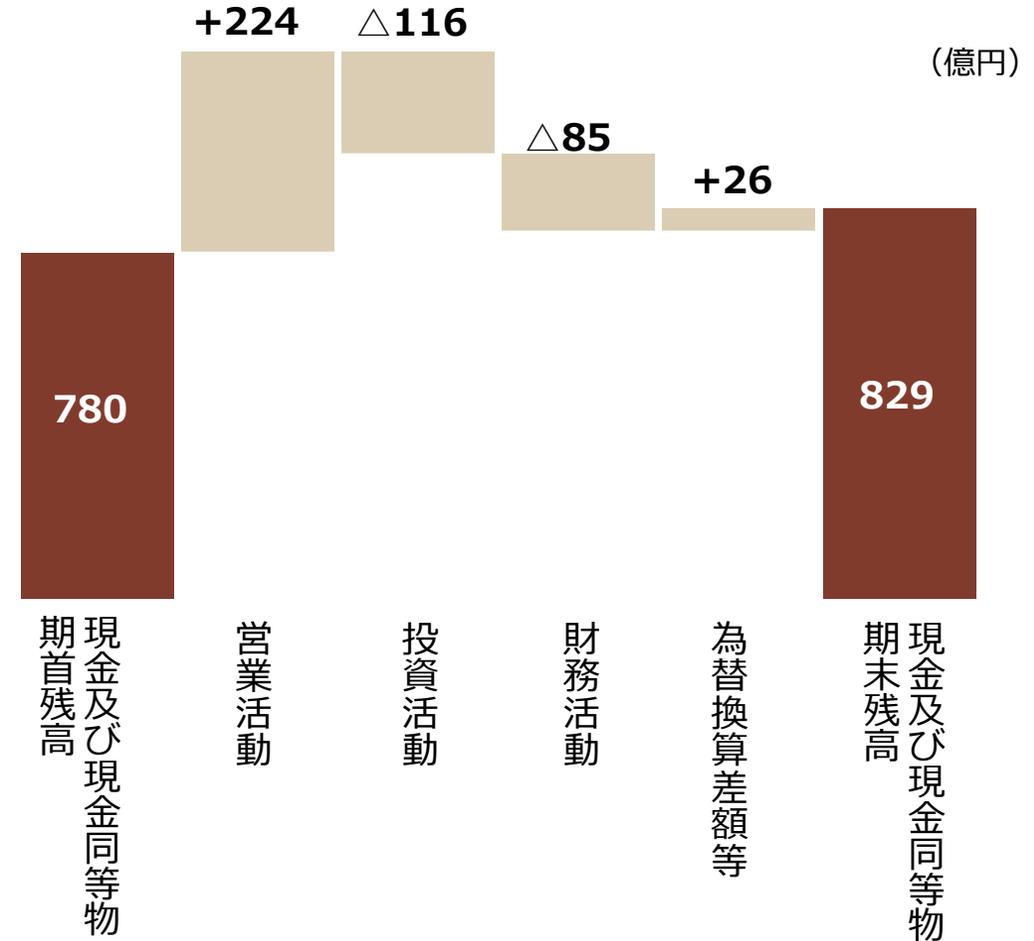
売上高の増加 +22,346百万円	
国内事業（薬価改定、販売数量、販売構成）	+22,472
中国事業	△126
売上原価の増加 △6,408百万円	
国内事業：生薬調達コスト	△2,451
国内事業：原資材費	△499
国内事業：加工費等	△3,469
中国事業：売上高構成比率の減少	+11
経費の増加 △1,085百万円	
減価償却費	△284
研究開発費	△35
販売促進費	△40
その他	△726
為替（円安）の影響 △1,616百万円	

財政状態およびキャッシュ・フロー

(百万円)

	2023年度 (2024.3)	2024年度 3Q	増減額
資産合計	428,254	463,807	35,553
流動資産	281,292	306,610	25,317
固定資産	146,961	157,197	10,235
負債合計	132,889	145,484	12,594
流動負債	68,557	73,433	4,875
固定負債	64,332	72,051	7,719
純資産合計	295,364	318,322	22,958
自己資本比率	63.2%	62.9%	△0.3pt

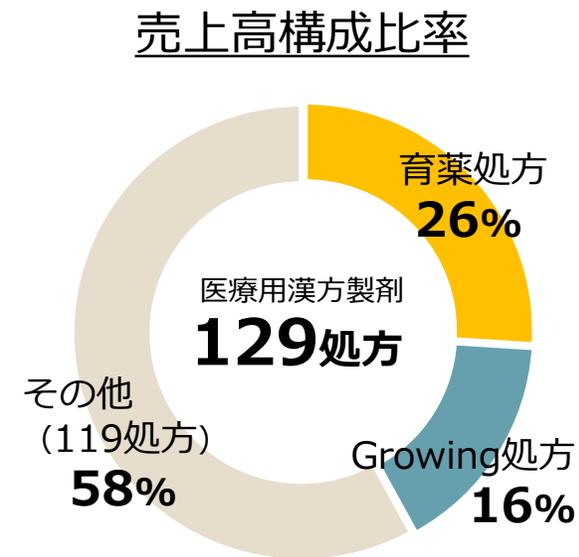
	2023年度 (2024.3)	2024年度 3Q	増減額	内、為替
棚卸資産計	117,617	128,646	11,029	1,920
商品及び製品	12,139	14,049	1,910	69
仕掛品	18,309	19,232	922	95
原材料及び貯蔵品	87,168	95,364	8,196	1,756



国内事業：育薬処方・Growing処方 売上高

(百万円)

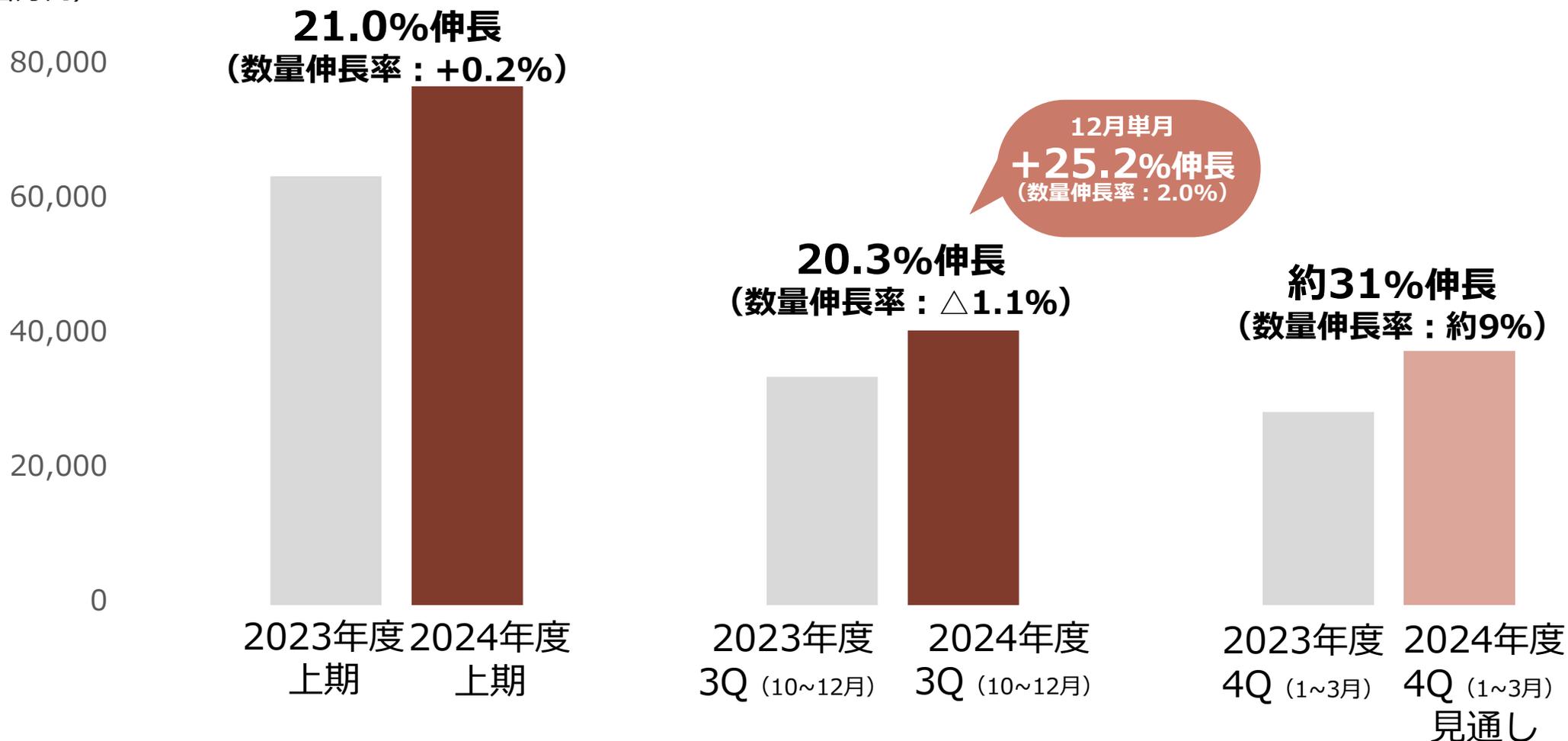
	売上 順位	製品No. / 処方名	2023年度3Q	2024年度3Q	前年同期比	
育薬 処方	1	100 大建中湯 ※	7,590	11,367	+3,777	+49.8%
	2	54 抑肝散 ※	5,826	8,602	+2,776	+47.6%
	5	43 六君子湯	5,661	5,486	△174	△3.1%
	8	107 牛車腎気丸 ※	2,827	4,281	+1,454	+51.4%
	25	14 半夏瀉心湯	1,097	1,113	+15	+1.4%
育薬処方合計			23,003	30,852	+7,848	+34.1%
Growing 処方	3	41 補中益気湯	6,185	5,879	△306	△5.0%
	4	17 五苓散	5,528	5,751	+222	+4.0%
	9	24 加味逍遙散	3,935	3,786	△149	△3.8%
	18	137 加味帰脾湯	1,782	1,740	△41	△2.3%
	20	108 人參養栄湯	1,761	1,645	△115	△6.6%
Growing処方合計			19,193	18,803	△390	△2.0%
育薬・Growing処方以外の119処方合計 ※			55,438	68,248	+12,810	+23.1%
医療用漢方製剤129処方合計			97,635	117,904	+20,269	+20.8%



※2024年4月の薬価改定において、不採算品再算定の適用を受けた処方66品目（育薬3処方＋その他63処方、改定率：+36.2%～+50.7%）

- 一部処方の限定出荷解除後の販売回復の遅れに加え、麦門冬湯の限定出荷解除の遅れが影響し、3Qの数量伸長率はマイナス
- 4Q（1~3月）は期初計画を上回る販売を計画、風邪関連処方を中心に大きく伸長する見通し

(百万円)



- HP医師へのアプローチの強化により、10処方以上を処方する医師の増加が加速
- すべての医師に情報をお届けできる状態を目指す



臨床医師 32万人

- ・ 医師のニーズに沿って、メディカルサイトで新たな取り組みを開始

オンラインMR「シリーズWeb面談」



Kampo Winter Course

- ・ 概論から学ぶ漢方薬（全3回）
- ・ 冬に役立つ漢方薬（全3回）

ツムラ メディカルサイト

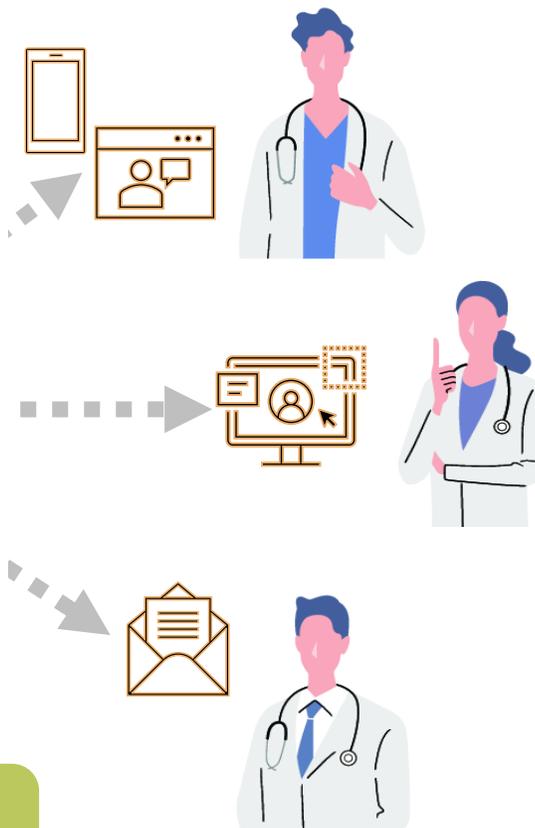


漢方学習ガイド

- ・ 定期的に漢方学習コンテンツをご紹介
- ・ 領域別の漢方学習方法のご提案



個別化した情報を配信



漢方情報のプラットフォーム
(Web講演会延べ2万名以上の医師参加)

- ・ 天津工場の第2期製造棟が竣工し、本稼働に向けたバリデーションなどを開始



完成した第2期製造棟

天津工場建設と稼働スケジュール

第1期 製造棟	<ul style="list-style-type: none">・ 2023年11月から国内工場へ出荷を開始・ 2024年度2Qからフル稼働
第2期 製造棟	<ul style="list-style-type: none">・ 2024年11月29日に竣工式を開催・ 2025年本稼働、2027年フル稼働予定
第3期 製造棟	<ul style="list-style-type: none">・ 2025年竣工、2027年本稼働、 2028年フル稼働予定

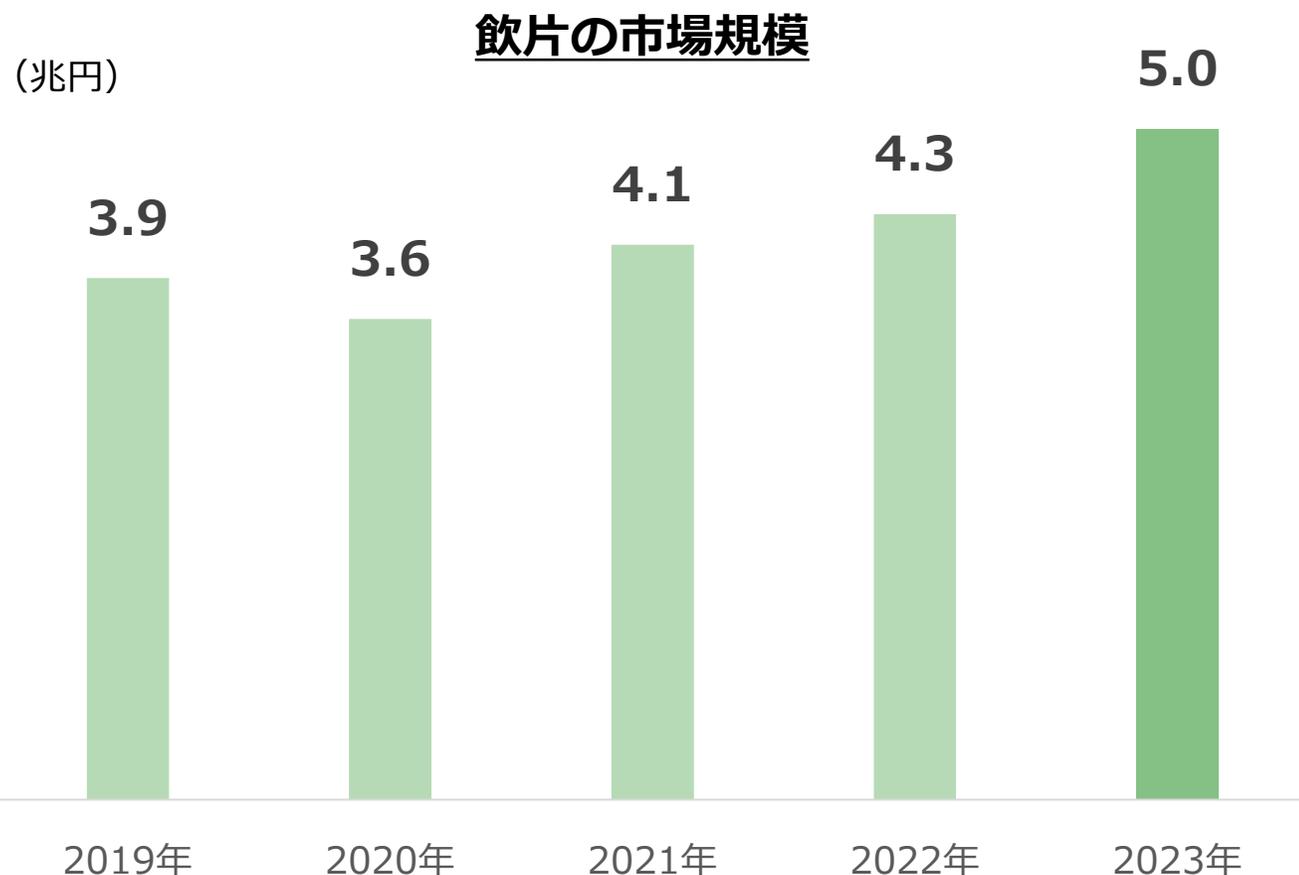
- 漢方製剤の需要拡大に伴う生産能力の増強、既存生産拠点の設備更新を見据えて土地を取得
- 漢方エキス粉末（中間製品）および造粒包装（最終製品化）の製造設備を建設予定



群馬工場の概要

場所	群馬県邑楽郡明和町
建設予定の設備	<ul style="list-style-type: none">漢方エキス粉末（中間製品）製造棟造粒包装棟品質管理、倉庫棟など
操業開始時期	2029年度（予定）
土地取得の目的	<ul style="list-style-type: none">漢方製剤の需要増への対応既存生産拠点の老朽化に伴う稼働停止への対応

- ・ 中医学の「弁証論治」に基づく診断、治療法において飲片は不可欠な薬材
- ・ 中薬の発展を促進する政策の後押しもあり、コロナ渦を除き市場成長が継続



一人ひとりの症状に合わせて飲片の種類、量を加減して処方されるオーダーメイド治療

- 均質性や携帯性など患者様の利便性を高めた飲片代行加工サービスを合わせて提供

処方された飲片



処方箋に沿って様々な剤形に加工・包装



煎液



流エキス



エキス顆粒

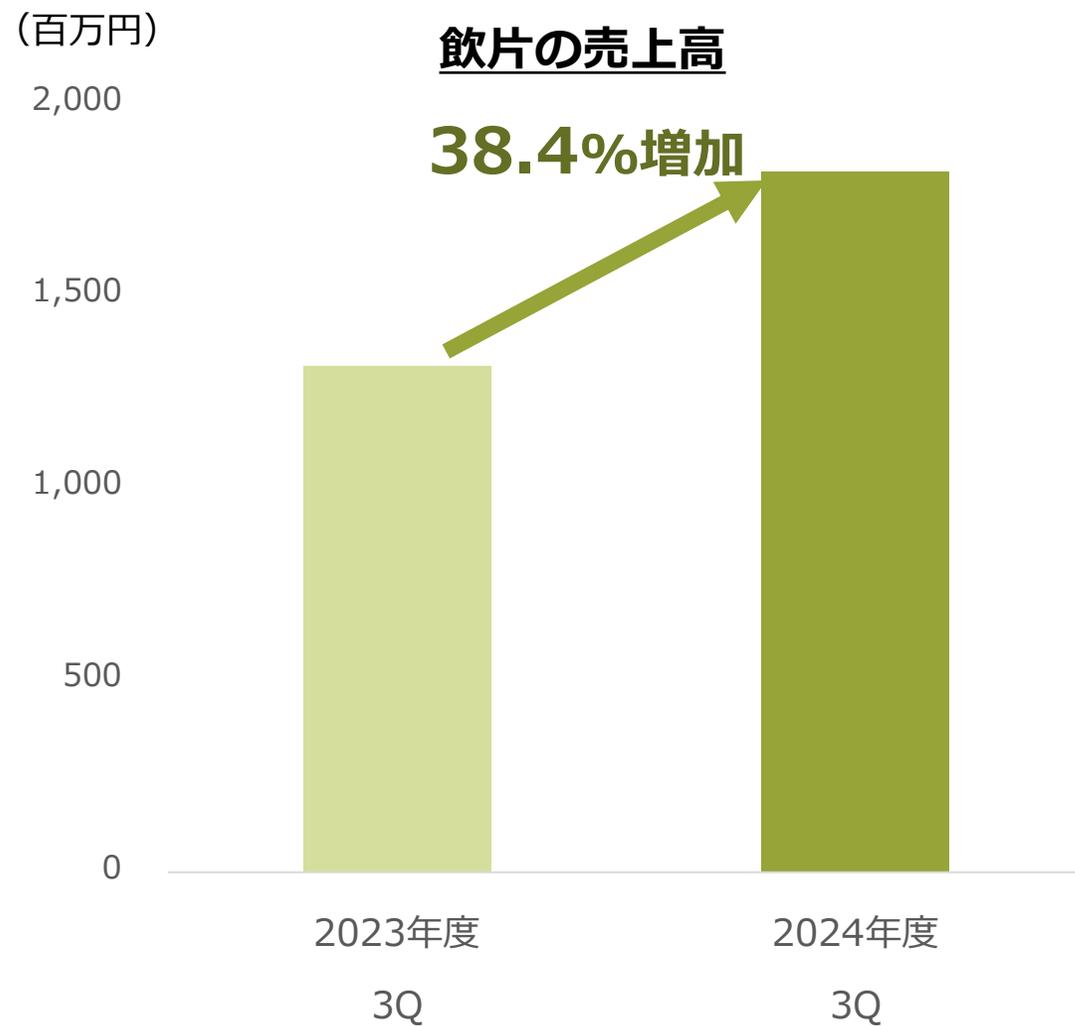


持って帰るのが大変
煎じる時間と手間がかかる
煎じ方によって味が変わる



利便性が向上
成分も安定化

- 公立病院を中心に販路を開拓したことで、飲片の販売が拡大
- 他社との提携を含めた販路拡大と飲片付加価値サービスにより、さらなる売上高の拡大を目指す



飲片

- ・ 上海虹橋薬業と飲片事業推進を目的とした技術・業務提携に関する意向書を締結（2月6日）
- ・ 具体的な提携内容や形式は決定次第、開示予定

生薬プラットフォームの飲片事業

にじはしやくぎょう
上海虹橋薬業有限公司



生薬GACPに基づき
畑から管理



高品質な飲片

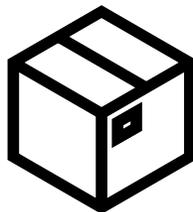
所在地	中国上海市
事業内容	・ 医薬品の製造販売（飲片含む） ・ 医療機器の販売など
資本金	122.07百万元（約25.8億円）
設立年月日	1982年3月30日

- ・ 営業CFの強化に加え、B/S改善によりキャッシュを創出し、事業のさらなる成長と株主還元へ配分
- ・ 売掛金回収サイトの短縮と政策保有株式の縮減により、3Qまでに約135億円を創出

売掛金回収サイトの短縮

■ 目標

売掛金の回収サイトを
取引先との交渉のうえ
段階的に約2割短縮



■ 3Qまでの進捗

- ・ 回収サイトの短縮は順調に進捗
- ・ 売掛金の圧縮効果
約90億円

政策保有株式の縮減

■ 目標

原則ゼロとする方針のもと、
今年度より本格的に縮減を実現し、
早期に半減



■ 3Qまでの進捗

- ・ 売却額は約45億円
(政策保有株式の総額は約30%減少)
- ・ 早期の半減を目指し、取り組みを加速

- 3Qの実績と今後の見通しを踏まえ、売上高および各利益を修正

【百万円】	2024年度 期初計画	2024年度 修正計画	増減額	修正理由
売上高	185,000	182,300	△2,700	
国内事業	163,400	161,800	△1,600	医療用漢方製剤において、3Qの販売が当初想定を下回ったため
中国事業	21,600	20,500	△1,100	3Qまでの原料生薬の販売が計画を下回ったため
営業利益	39,500	40,000	+500	売上原価：製造経費の削減、製造部門採用の遅れ 販管費：中国事業のコストコントロール
経常利益	39,500	44,000	+4,500	円安による為替差益の計上
親会社株主に帰属する 当期純利益	28,500	34,000	+5,500	政策保有株式の売却益の計上

ROE	10.0%	12.0%
1株当たり配当金	136円	136円
DOE	3.6%	3.6%

コーポレート・コミュニケーション室

IR推進グループ

investor_madoguchi@mail.tsumura.co.jp

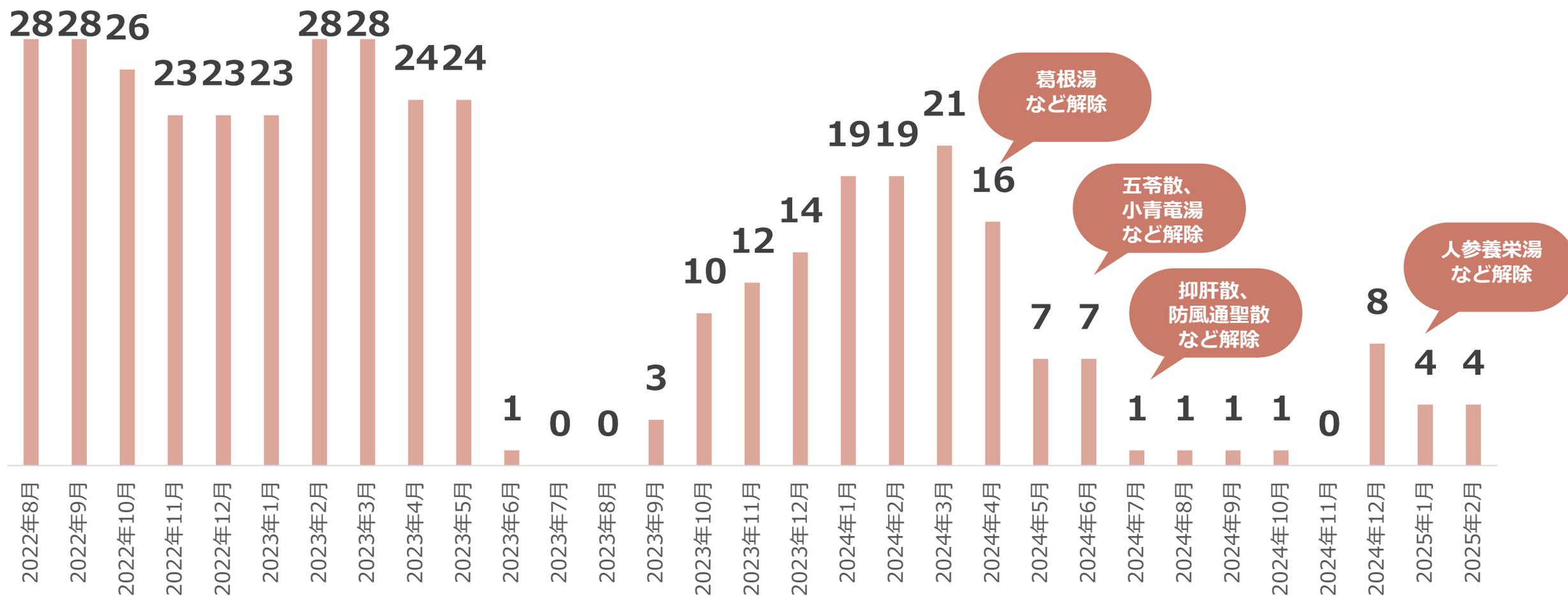
本資料に関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含んでおります。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により販売中止、または売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。
- 本資料には、医薬品（開発品目を含む）に関する情報が含まれておりますが、それらは宣伝広告、医学的なアドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料において提供される資料ならびに情報は、予告なしに、変更・追加・削除されることがあります。

Appendix

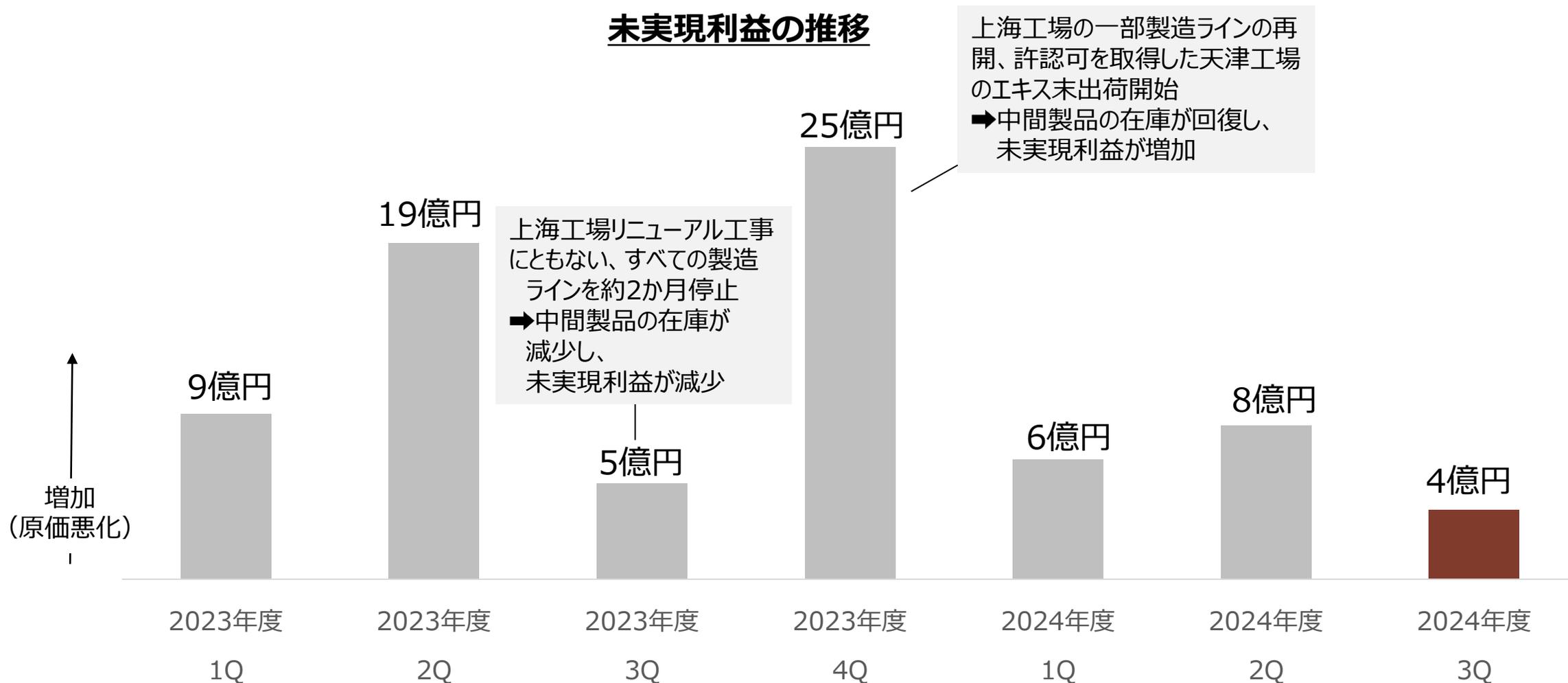
国内事業：医療用漢方製剤（129処方）限定出荷品目数の推移

- 生産能力の増強により、11月28日に全品目を解除
- 品質調査のため12月末から一部処方を限定出荷としたが、調査が完了し、出荷準備が整った品目から限定出荷の解除を随時実施（4月上旬までに全品目解除予定）



- ・ 2023年度は工場の稼働停止などの特殊要因により、Qごとに大きな変動が発生
- ・ 2024年度は3Qまでに特殊要因の発生なし

未実現利益の推移



- ・ 生薬プラットフォームの営業利益は黒字を継続
- ・ 売上高は期初計画の達成は困難な見通しだが、中国事業営業利益の黒字化を引き続き目指す

中国事業	売上高	138.9億円
生薬PF	営業利益	6.3億円
製剤PF関連、IT基盤投資等	経費等	
中国事業	営業利益	△1.9億円

伸長率（前年同期比）
▲3.3%

原料生薬



原料として、
中成薬メーカーへ販売

伸長率（前年同期比）
+38.4%

飲片



病院や薬局へ
医療用やOTCとして販売

生薬PFの主要製品